

VIII ストーカー行為や被害経験

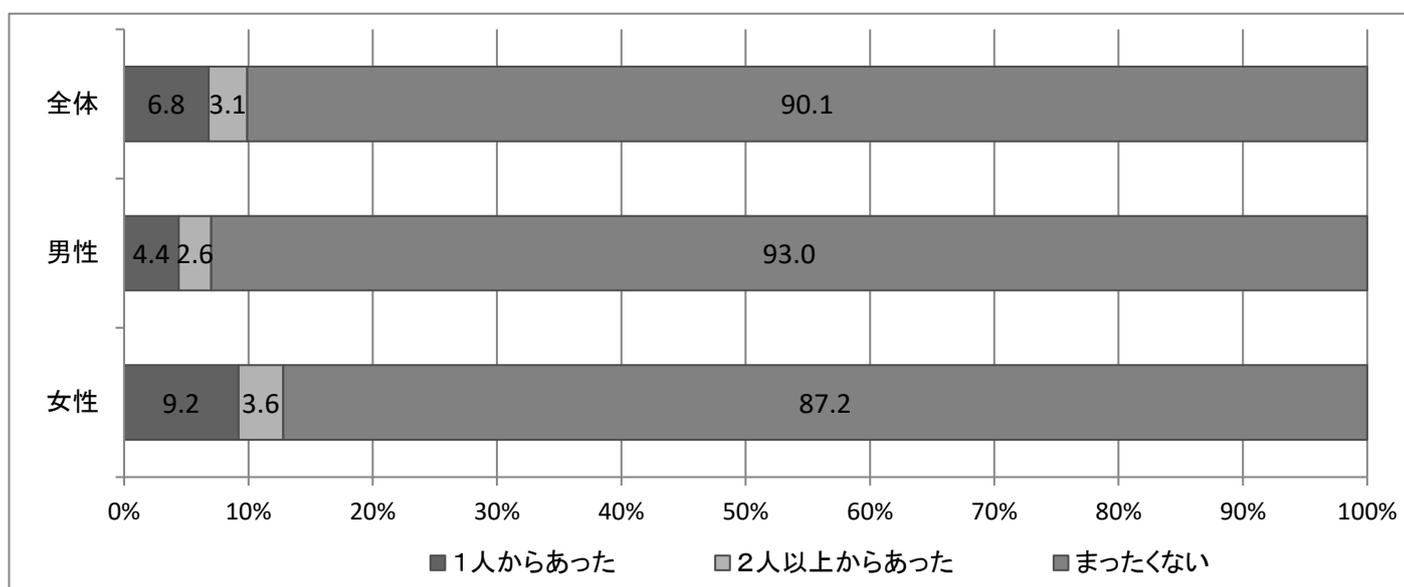
【被害経験の有無】

ある特定の相手から執拗なつきまといや待ち伏せ、面会・交際の要求、無言電話や連続した電話・電子メールの送信やSNS・ブログ等への書き込みなど（以下、ストーカー行為とする。）の被害について、「1人からあった」6.8%、「2人以上からあった」3.1%と1人以上の被害経験がある人は約1割で、男女別では、被害経験がある男性は7.0%で、女性は12.8%と女性の方が高くなっている。

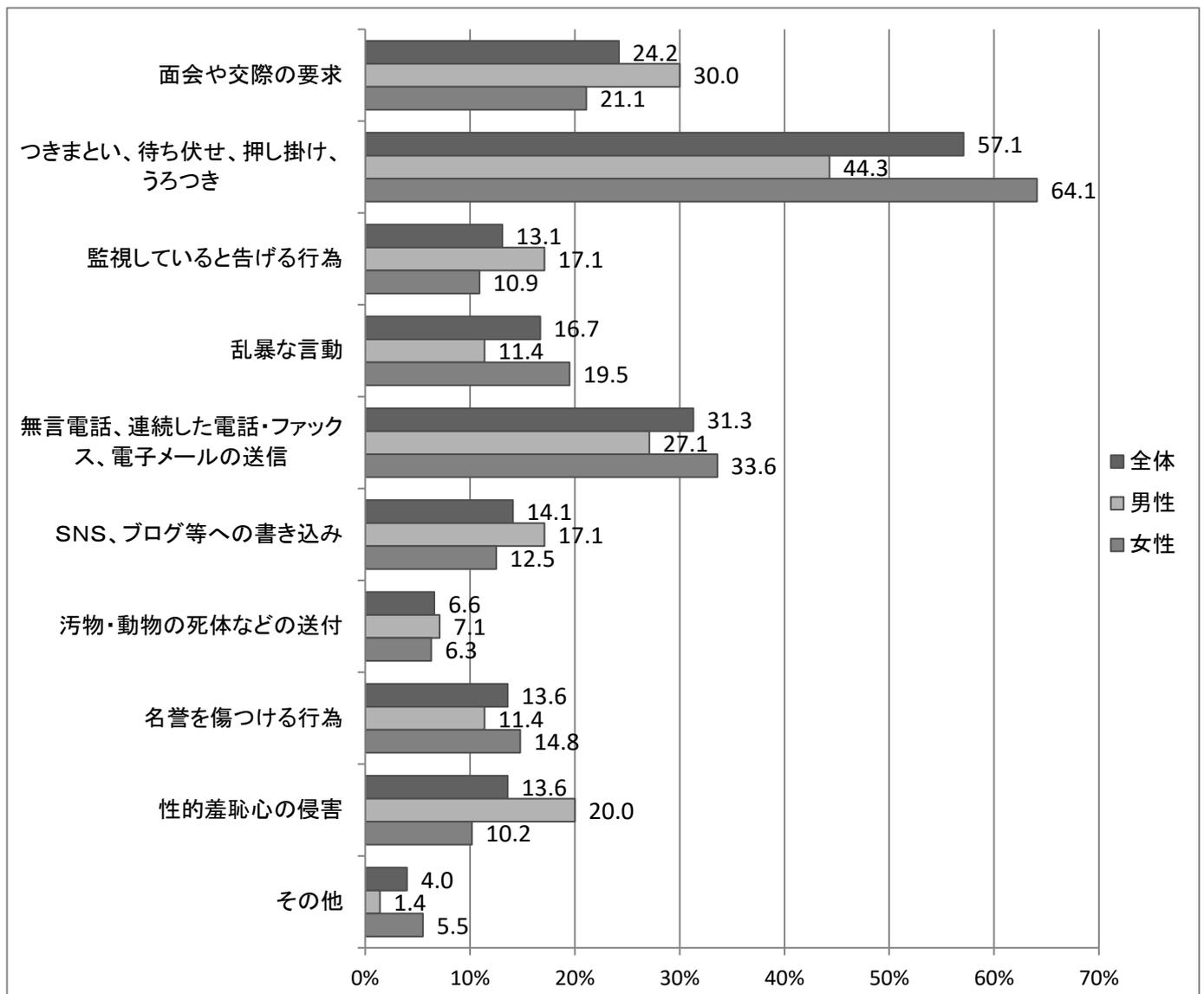
また、ストーカー行為の内容では、「つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、うろつき」57.1%、「無言電話、連続した電話・ファックス、電子メールの送信」31.3%、「面会や交際の要求」24.2%の順で高くなっている。

男女別では、女性の方が10ポイント以上高いのは「つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、うろつき」となっており、男性の方が5ポイント以上高いのは「面会や交際の要求」「監視していると告げる行為」「性的羞恥心の侵害」となっている。

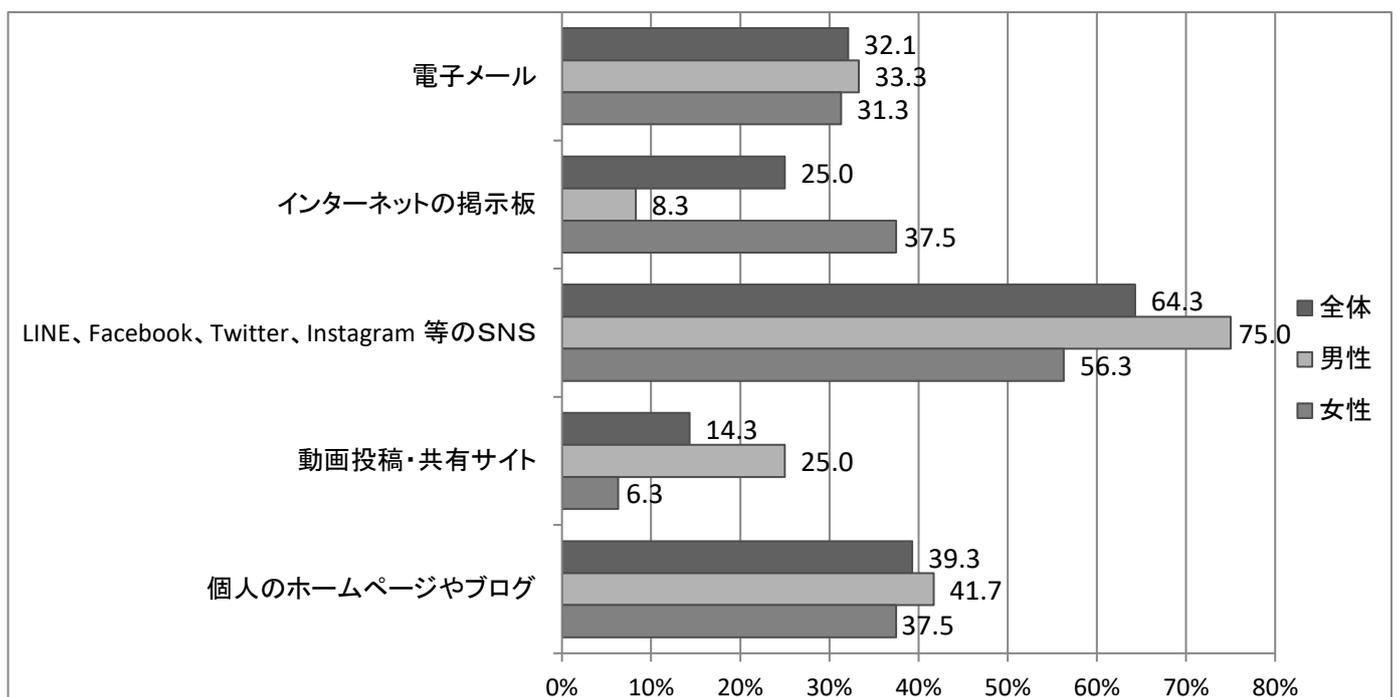
（問）あなたはこれまでにストーカー行為の被害にあったことがありますか。



(問) どのようなストーカー行為をされましたか。



● SNS、ブログ等への書き込みツール (いくつでも)

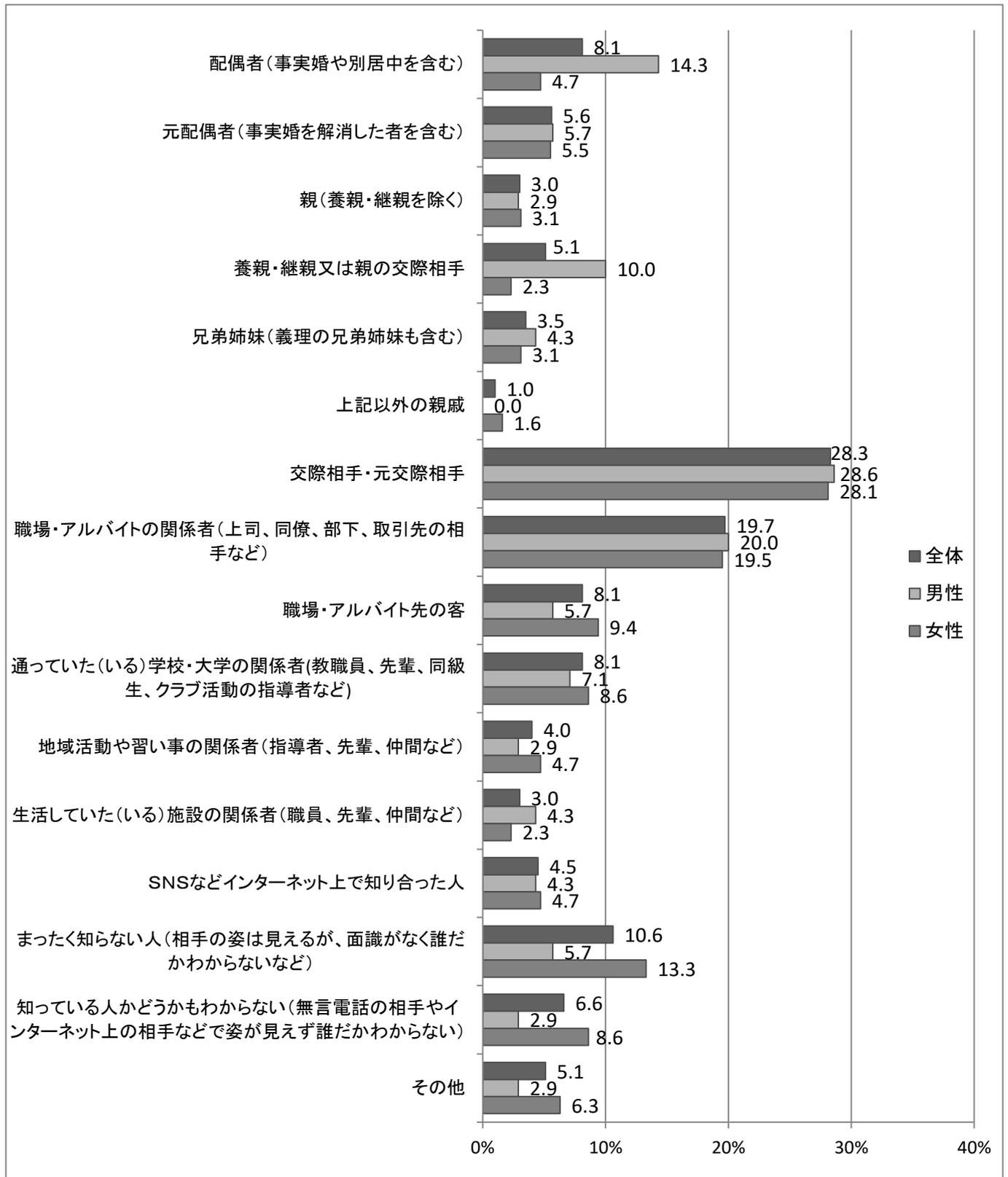


【加害者との関係性】

加害者との関係性については、「交際相手・元交際相手」28.3%、「職場・アルバイトの関係者」19.7%、「まったく知らない人」10.6%の順で高くなっている。

また、男女別では、女性の方が5ポイント以上高いのは「まったく知らない人」「知っている人かどうかもわからない」で、男性の方が5ポイント以上高いのは「配偶者」「養親・継親又は親の交際相手」となっている。

(問) 加害者はあなたとどのような関係でしたか。

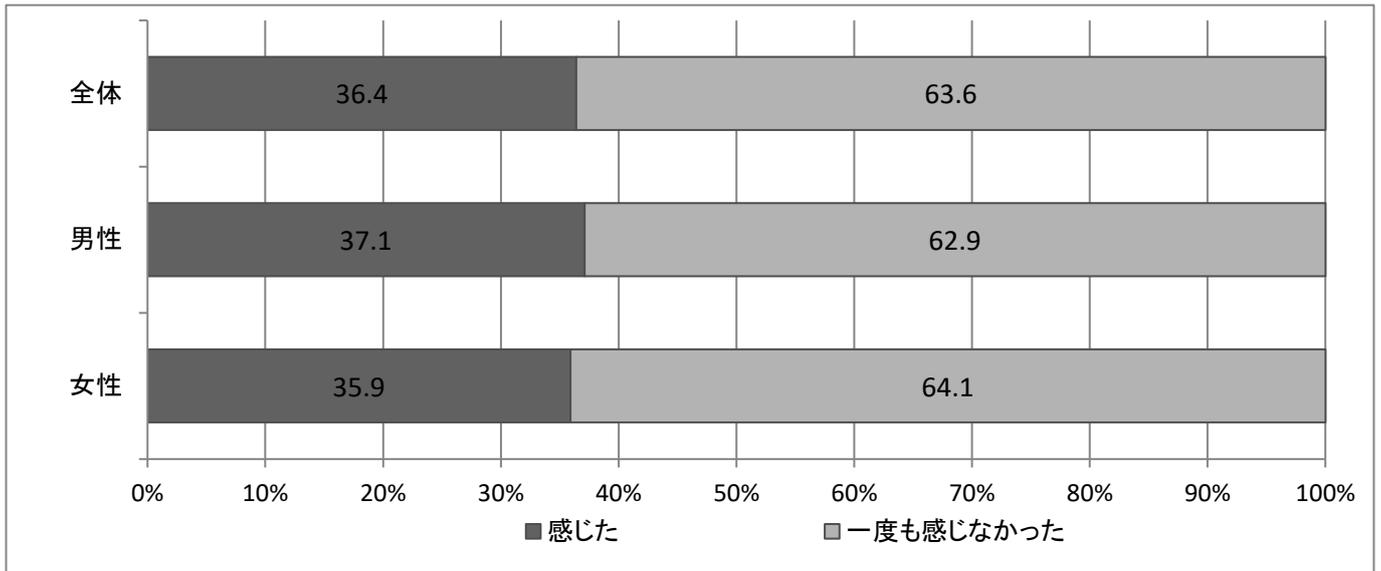


【被害による生活の変化】

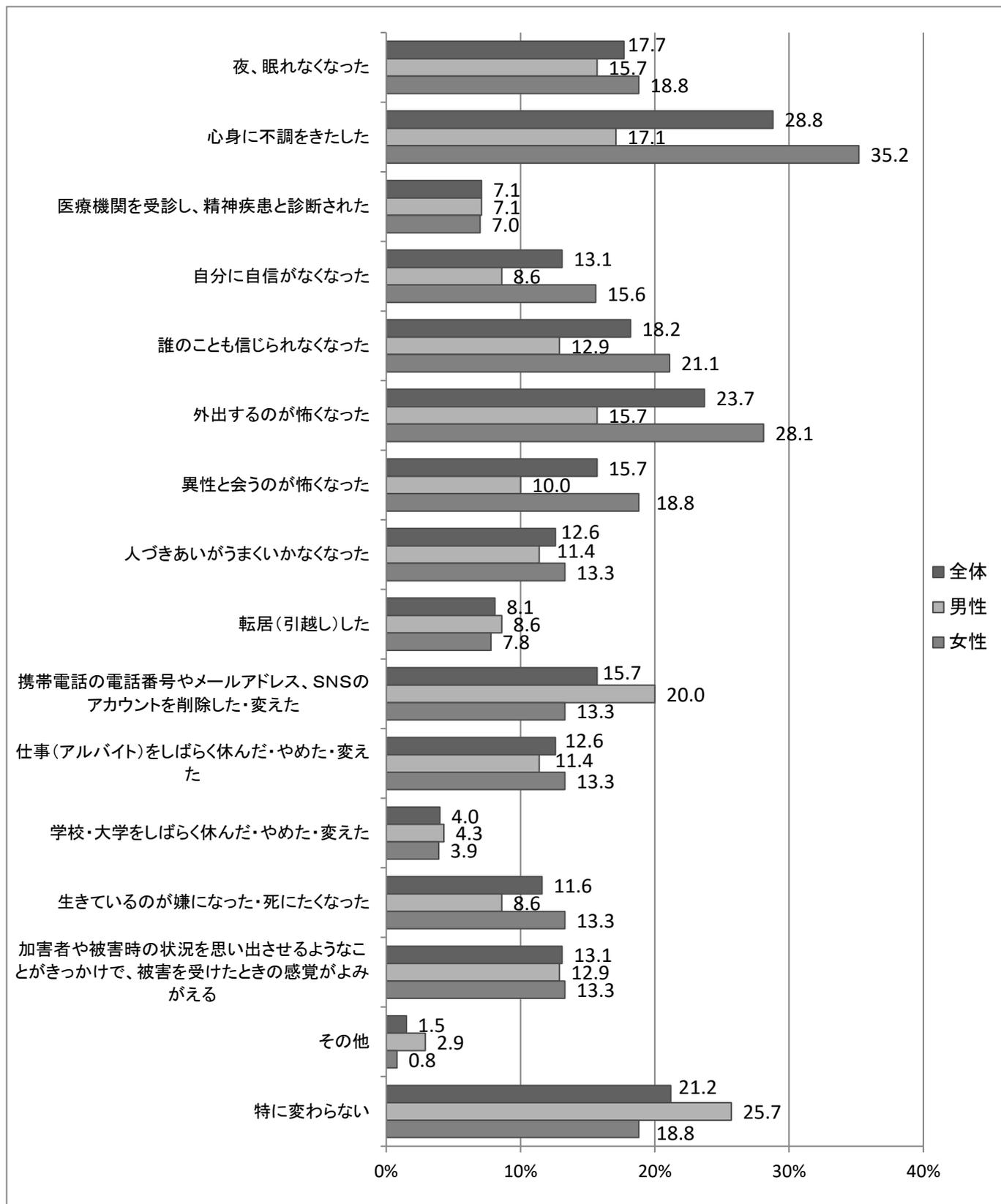
ストーカー行為により「命の危険を感じた」が36.4%（男性37.1%、女性35.9%）となっており、ストーカー被害による生活の変化は「心身に不調をきたした」28.8%、「外出するのが怖くなった」23.7%、「誰のことも信じられなくなった」18.2%となっている。

男女別では、女性の方が5ポイント以上高いのは「心身に不調をきたした」「自分に自信がなくなった」「誰のことも信じられなくなった」「外出するのが怖くなった」「異性と会うのが怖くなった」で、男性の方が5ポイント以上高いのは「携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた」「特に変わらない」となっている。

（問）これまでにストーカーからの行為によって命の危険を感じたことがありますか。



(問) ストーカー被害によって生活が変わりましたか。



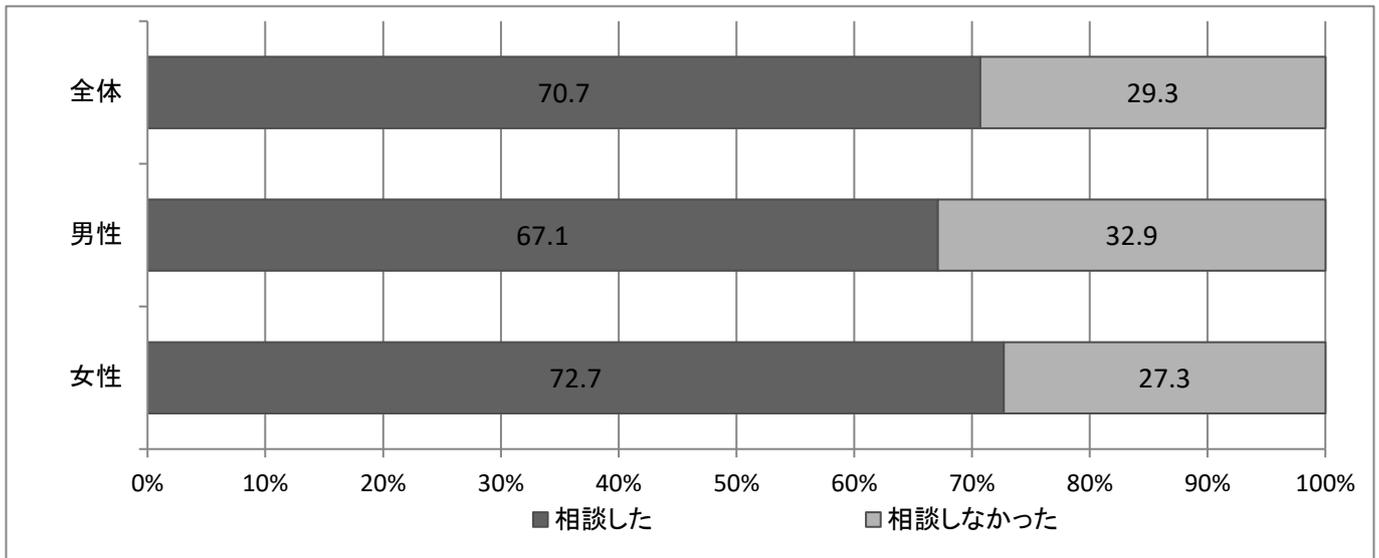
【被害を受けたときに相談したか、相談先】

被害を受けたときの相談については、「相談しなかった」が29.3%で、男女別では、男性は女性よりも5.6ポイント高くなっている。

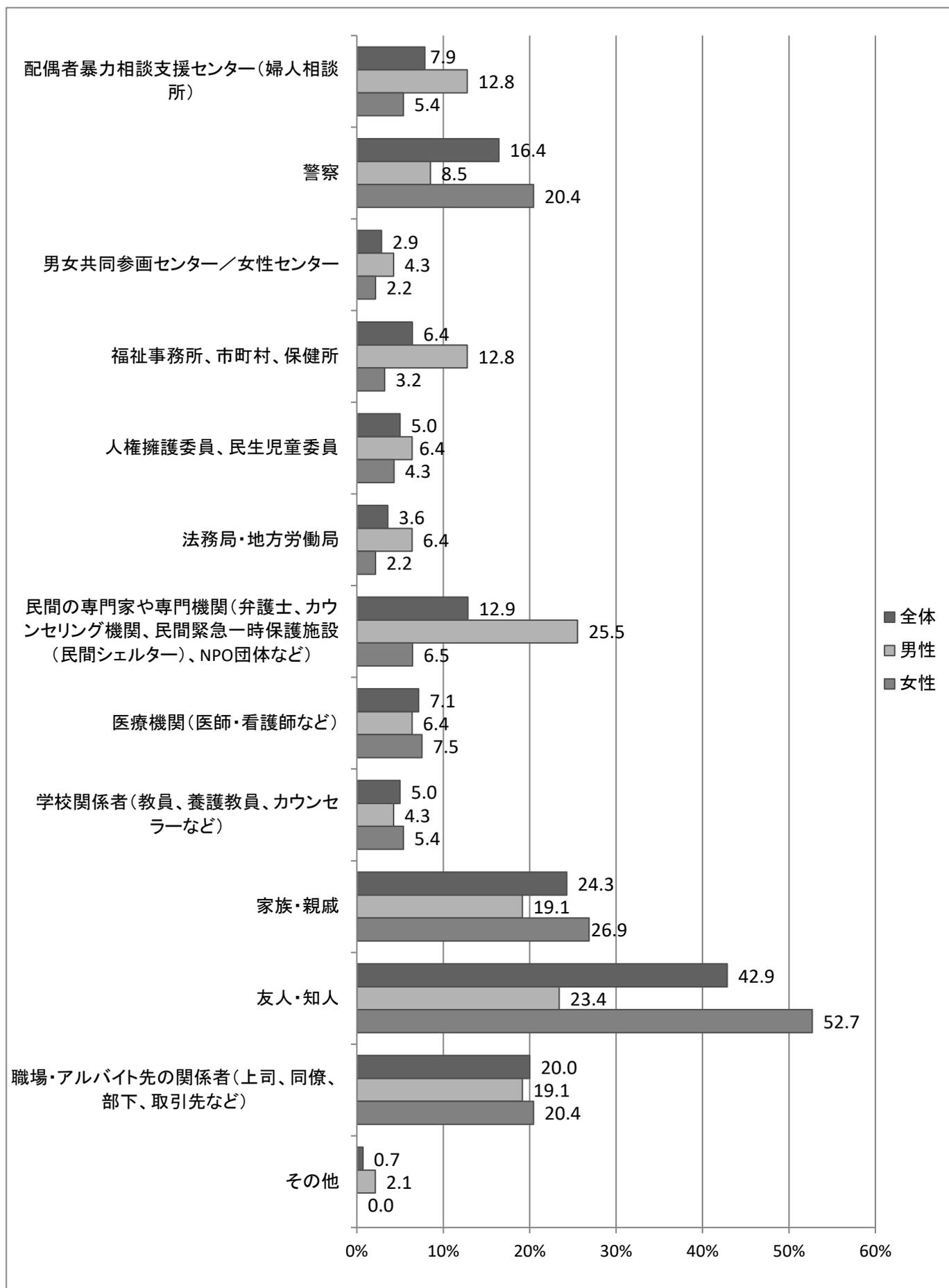
相談した場合の相談先は、「知人・友人」42.9%、「家族・親戚」24.32%が特に高く、次いで「職場・アルバイト先の関係者」が20.0%、「警察」が16.4%となっている。

男女別では、女性の方が5ポイント以上高いのは「警察」「家族・親戚」「友人・知人」で、男性の方が5ポイント以上高いのは「配偶者暴力相談支援センター」「福祉事務所、市町村、保健所」「民間の専門家や専門機関」となっている。

(問) これまでにストーカーから受けた被害について、誰かに打ち明け、相談しましたか。



●どこ（だれ）かに相談した場合の相談先（いくつでも）



【相談しなかった理由】

「相談しても無駄だと思った」が最も高く 32.8%、次いで「相談するほどのことではないと思った」22.4%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていると」20.7%、「どこ（だれ）に相談してよいかわからなかった」19.0%の順で高い。

（問）どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも）

